

月例報告書（7 月分）

留学先；ブルゴーニュ大学

氏名：坂口紅葉

7 月の日常

七月から一つ上のクラスとの合同授業になったのでまた少し授業のレベルが上がりました。新しくクラスに来た子もいて、せっかく友達になれたのですが、3 週間コースだったみたいですぐ帰国してしまいました。とても寂しいですがいつか会いに行きたいと思います。

ディジョンでは、ツールドフランスが来たりオリンピックの聖火リレーが来たりと行事が盛りだくさんでした。ツールドフランスがディジョンに来るのは毎回のことではなく何十年ぶりだと聞いたのでラッキーでした。聖火リレーではミスフランスがディジョンに来たり、多くの人が公園に集まっていた大盛り上がりを見せていました。また、7 月 14 日はフランスの革命記念日なので各地でお祝いします。私はパリに行って軍事パレードを見た後、ディジョンに帰ってきて花火を見ました。ディジョンには人工池があるのですが、そこで泳いだり、ビーチバレーをすることができます。花火はそこで行われ、初めて行きましたがとてもいい場所でした。7 月 14 日をフランスで過ごすことができとてもうれしく思います。



7 月はパリオリンピックがついに始まりました。バレーボールファンの私は、男子バレーの初戦、日本対ドイツを見に行きました。初めて見るオリンピック、とても楽しかったです。惜しくも日本は負けてしまいましたがいい試合を生で見ることができて感激です。会場にはバレーボール体験ブースもあり、オリンピックオリジナルボールで少しプレーさせてもらいました。とてもいい経験になりました。



七月の旅行

私が一番仲良くさせてもらっていた友達が日本に異国してしまうということで、最後にフランスから少し離れた国に遊びに行くことにしました。ハンガリー、オーストリア、チェコに行ってきた。一度の旅行でいろんな国に行けてしまうのがヨーロッパの良いところです。この 3 国は、言語も通貨も全部違って、国ごとに全く違った雰囲気を持っていた面白かったです。3 国とも共通してご飯がとてもおいしかったです。しかし内陸国なので名物が肉ばかりで野菜と魚不足を感じました。

ハンガリーは温泉が有名で約一年ぶりに温泉に入りました。フランスは湯舟がないのが普通なので、基本はシャワーだけです。久しぶりに熱いお湯につかって日本を思い出しま

した。温泉といっても、水着着用で男女混浴なので温水プールといったほうがイメージが付きやすいと思います。美しいドナウ川でクルージングもしました。ご飯はハンガリーが一番おいしかったと思います。

オーストリアは、街がとても洗礼されているように感じました。さすがハプスブルク家だと思いました。宮殿はもちろん、美術館もハプスブルク家が集めてきたものがたくさん飾られています。ほかの 2 国と比べると物価が高く、ユーロが使えるのはありがたかったですが、フランスと違い美術館に入るのにもお金がかかります。（フランスはユーロ圏に住んでいる 25 歳以下は無料の美術館が多い）しかし、高校の世界史で習ったハプスブルク家の宮殿を実際に見れたことはとても嬉しかったです。また、モーツァルトはオーストリアのウィーン郊外、ザルツブルク生まれのため、街がモーツァルトであふれていました。モーツァルトコンサートを聞きに行き、たっぷりモーツァルトを摂取してきました。

チェコもまた音楽の街でした。有名な『わが祖国』を作ったスメタナの出身地です。ブルタバ（モルダウ）はとてもきれいな川でした。ブルタバにかかる橋の上ではストリートミュージシャンたちが音楽を奏でていました。チェコはペトロフというピアノを作っている場所であり、ペトロフ展でグランドピアノに触らせていただきました。グランドピアノを弾くのは私の夢だったのでまさかチェコで夢が叶うとは思っていませんでした。また、チェコはフランスで活躍した画家のミュシャの出身地でもあります。ミュシャは日本人にとっても人気があり、ミュシャ展なども開催されています。私もミュシャが大好きなのでミュシャミュージアムに行けてとても嬉しかったです。

本当に私が行きたいところすべて行けた大満足の旅でした。たくさん芸術を摂取できてうれしいです。ヨーロッパは本当に芸術にあふれていて楽しいです。国ごとに違った建造物を持ち、違った風景を楽しむことができます。たくさんの国に行きましたがまだまだ言っていない国はたくさんあるのでもっと旅をしたいです。



写真は各地の教会（左からブダペスト、ウィーン、プラハ）